



トイレ

打合せ室

GLホーム 米沢店 / 事務所棟

住宅展示場内の事務所棟。発災時、ライフラインが途絶えた際も自立が可能な設備を装備。近隣住民の一時的な避難施設として開放する。

ライフラインの途絶を想定し、太陽光パネルや貯水タンクを装備。トイレは平常時5L/災害時1Lの洗浄水量で洗浄可能なレジリエンストイレを採用。建物全体で災害時でも普段と同じように生活できるようにしている。

DATA

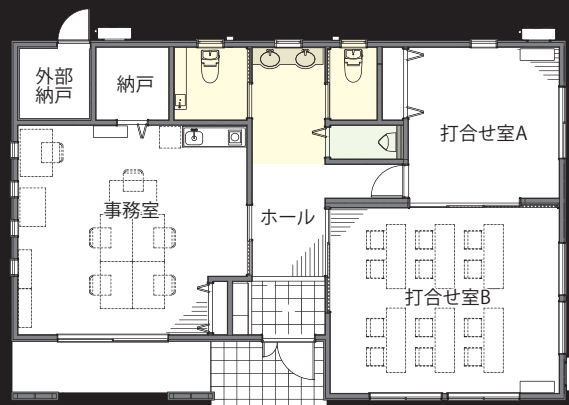
施主：株式会社中村建設
 設計：株式会社中村建設
 施工：株式会社中村建設
 所在地：山形県米沢市中田町670

商品情報

レジリエンストイレ：BC-P112SA・DT-PB150CH
 シャワートイレ：CW-PA11F-NE
 小便器：YU-331RM
 洗面器：L-2150FC
 水栓金具：LF-B350SY



外観全景



平面図

掲載内容及び写真・図版の無断転載はかたくお断りします。(許可なく転載・流用した場合、損害賠償が発生します。)

トイレ



大便器は災害時にも配慮したレジリエンストイレ。災害時でも使い慣れた洋便器で使い方がわかりやすく、汚物を水で洗い流すため衛生的。断水に備えて洗浄水も常備。

床下



4人家族の10日分の水を備蓄できる大容量の貯水タンクを打合せ室の床下に掛け、災害による断水時の生活用水を確保している。

洗面



洗面カウンターにはオーバーカウンター式の洗面器を採用。上からかぶせて取り付ける、施工性がよいタイプ。

オーナー様の声

災害が発生した際は事務所棟を近隣住民の一時避難場所として開放する予定です。

災害時は電気・ガス・水道などのライフラインが途絶えることが考えられるため、屋外には太陽光パネルやかまどとして使用できるかまどベンチを常設。広めのスペースも確保し、テントが設営できるようにしています。屋内には非常食・飲料水・救急セットを常備し、短期間であれば避難生活を送れるようにしています。

災害時にトイレで困る話を耳にするので、個室トイレには災害時1Lで使用できるレジリエンストイレを2台設置しています。床下に大容量の貯水タンクがあり、断水時はその水をトイレの洗浄水としても使う予定です。普段は5L洗浄で使用していますが、普段使用しているトイレと変わらない使い勝手です。フチがないため、掃除はしやすいです。

一番良いのは災害が起きないことですが、事前にできる準備を行い、災害に備えています。

株式会社 中村建設 / 松浦 恵美 営業アシスタント

打合せ室



打合せ室には非常食・飲料水・救急セットを備蓄し、災害への備えを常時行っている。また建物は制震システムを採用し、余震に対しても強い構造を持っている。

屋外



災害時、地域住民の生活維持に役立てるよう、屋外には太陽光パネルやかまどベンチ型のかまど、テントが設営できるイベントスペースなどを自立型避難所として整備。